

第2次黒部市総合振興計画審議会

第1回第5部会【教育・文化】

議事概要

日時：平成28年11月29日（火）14:00～15:25

場所：黒部市役所 202・203 会議室

出席者：委員7名（欠席なし）、専門委員1名（欠席なし）

幹事2名（欠席なし）、計画主任6名（欠席なし）、事務局4名

次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
 - （1）計画策定に係るこれまでの経過について
 - （2）各委員からの意見・提言について
4. 協議事項
 - （1）第1次総合振興計画の成果について
 - （2）施策の現状・課題及び施策推進の方針等について
 - （3）施策体系（まちづくり方針・施策区分等）について
 - （4）その他
5. 閉会

主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

部会長あいさつ

○部会長：本日は教育・文化部会に出席いただき感謝する。錚々たる委員がいる中、部会長を務めることは僭越であるが、秦会長からの指名であるため、ご理解いただきたい。第1回審議会では基本構想、基本計画の諮問を受け、スケジュールを確認した。また、将来像については、第1次総合振興計画と同様の「大自然のシンフォニー 文化・交流のまち黒部」基本理念は「市民の参画と協働によるまちづくり」で決定した。本部会では、みなさんの活発な議論により、今後の黒部市におけるま

ちづくり方針や具体的な施策について意見をいただくとともに、部会運営についてもご協力いただきたい。

報告事項

(これまでの経過、各委員からの意見・提言について、事務局より説明)

協議事項

(資料 3-1、3-2：第 1 次総合振興計画の成果について、事務局より説明)

- 教育部長：資料 3-1 の「家庭教育の充実」について H27 年度末時点の達成状況を○、「生涯学習の推進」における村椿公民館の年度を平成 21 年度に訂正してほしい。
- 部会長：資料 3-2 の「農協との併設公民館解体事業 (NO. 435)」は「廃止」となっているが、事業が完了したことから廃止となっているのか。
- 事務局：その通りである。

(資料 4：施策の現状・課題及び施策推進の方針等について、事務局より説明)

—特に意見なし—

(資料 5：施策体系について、事務局より説明)

- 部会長：施策中分類における新規項目の理由と施策区分において文化・スポーツを分けた理由について事務局より説明いただきたい。
- 事務局：文化・スポーツを分けた理由は、単純に区分した方がわかりやすくなること、各施策区分で力を入れていることもあり、分類した。施策中分類における新規項目について、国際化教育推進事業は英会話科事業、学校運営効率化事業は地域人材・資源を活用に対して注力していきたいため、新たに設定した。
- 部会長：第 5 部会のテーマについて「人」は市民全体のことを意味しているのか。もしくは、豊かな心と生きがいを育む方のみを対象となっているのか。
- A 委員：「豊かな心と生きがいを育む」の記載はまちづくりに係る言葉かと思う。「豊かな心と生きがいを育み人が輝くまちづくり」としてはどうか。
- 事務局：「人」の対象は市民全体を意味しており、「豊かな心と生きがいを育む、人が輝くまちづくり」など句読点を入れて表現する案もあるかと感じた。
- B 委員：「豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり」とすれば、豊かな心と生きがいを育みつつ、市民が輝くまちづくりと理解しやすくなるのではないかと思った。
- C 委員：「豊かな心と生きがいを育むまちづくり」でも良いところ、少し欲張って

「人が輝く」を入れ込んだ感じがする。

- D委員：「豊かな心と生きがいを育む」と「人が輝く」を並列表記する場合、「人が輝く」の意味合いが大きいと感じられるため、「育み」と接続させた方が良いかと思う。
- E委員：「育み」でも「育む」でも句読点は必要かと思う。
- F委員：「人が輝く」の意味が分からない。
- G委員：教育・文化すべての分野で輝くことを意図しているのかと思うが、少し漠然としているような感じはある。
- C委員：「人が輝く」を活かすのであれば「育み、」と表現したほうが良いと思うが、難しい。
- 部会長：私からの意見であるが、「人が輝く」は唐突すぎるので、削除することも一案かと思う。事務局として「人が輝く」と入れ込んだ意図はあるのか。
- G委員：スポーツなどの分野では輝かしい記録などの文言があり、それをイメージして入れ込んだのではないか。
- D委員：枠には「輝く」の記載がないため、少し違和感がある。
- E委員：黒部市民の私達が輝けば良いと思う。
- 部会長：様々な意見をいただきましたが、「豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり」でよろしいか。

—異議なし—

- E委員：個人的に国際化教育について、未来の子供には英語を話せるようになってほしい。また、市の職員や市民も姉妹都市をはじめ海外で研修すべきではないかと思う。以前、まちづくり協議会にて海外へ視察に行かせてもらったが、非常に勉強になった。現地を見ることで学ぶことが必要であり、未来の黒部市を考える上では重要視する視点かと思う。
- 部会長：子どもについては施策体系の「②学校教育の充実」、一般市民については「⑦国際化への対応」に該当するかと思う。
- A委員：「②学校教育の充実」の事業メニューに心と体を育む教育の推進と記載されているが、「知」「徳」「体」との視点もある中、心と体に絞った意図を教えてください。
- 計画主任：教育委員会では、心身を学ぶ教育に重点を置いており、それらを踏まえて「心身」との記載をしている。
- 部会長：学校運営効率化事業では具体的にどのようなことを考えているのか。
- 計画主任：社会とつながること意識した事業を考えており、スポーツエキスパートや体験活動など、様々なノウハウを持った方からの授業の実施を想定している。
- 教育部長：新規として項目を設けているが、これまでも継続的に実施してきた内容である。施策中分類に位置づけ、注力していく意思表示であると理解いただきたい。

- D委員：事業メニューにおいて「学習環境の充実および就学支援の推進」とあるが「学習環境の充実」はハード施策、「就学支援の推進」はソフト施策であるため、“および”の表現でつなぐことに違和感がある。また、「就学支援」は現在「教育支援」として、就学支援だけではなく継続的な就学相談も実施する流れがあるかと思うが、いかがか。
- 計画主任：就学支援は経済支援や特別支援をイメージしている。教育支援についてはそれにあたるのかと感じた。
- 部会長：就学前教育とは異なると理解した。
- E委員：学校運営効率化事業では、地域の人が子供たちに昔の勉強方法などを教える趣旨の活動も実施したほうが良いと思った。
- 教育部長：ご意見いただいた事業は実施しており、その他にも千島歯舞諸島居住者連盟の方の出前講座なども行っている。学校評議会からのご意見・協力などをいただきながら運営していきたいと思う。
- B委員：家庭教育指導者の育成とあるが、どのような方を指しているのか。
- D委員：親学び隊推進リーダーのことを指しているのではないか。PTAの中で親学び講座の中心となる推進リーダーを育成する事業ということかと思う。
- 計画主任：おっしゃる通りである。平成27年度は12小中学校で親学びの研修会を開催した。第1次総合振興計画では女性団体の連絡協議会への補助を実施していたが、第2次総合振興計画では、女性団体への補助を男女共同参画社会の推進の項目として整理してはどうかと考えている。
- E委員：女性団体は予算が少なく、様々な活動を通じて活動費用を捻出しているため、予算を減らされると困る。
- 計画主任：補助を減らすという意味ではなく、第2次総合振興計画からは男女共同参画社会の事業に変更するという意味である。
- 部会長：個別事業については、次回以降に意見をいただければ思う。
- C委員：資料3-1「青少年の健全育成」における放課後子ども教室の開設数について、中央小学校は実施していない。なぜ、達成度が◎になるのか教えてほしい。
- 計画主任：計画策定時期（11校）から統廃合が進んでいるためかと思う。中央小学校は平成29年度から実施する予定である。
- 部会長：本日いただいた意見は再度、事務局にて整理してほしい。

閉会

- 事務局：次回の第2回第5部会は、1月31日（火）10:00より行う。

以上